

信州大学医学部附属病院 腎臓内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2022年2月1日

「血清 Sulfatides と半月体形成性腎炎との関連についての検討」

に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5419
研究課題名	血清 Sulfatides と半月体形成性腎炎との関連についての検討
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院腎臓内科
研究責任者(職名)	原田 真 (医員)
研究実施期間	医学部長による許可日～2024年12月31日
研究の意義、目的	急速に腎障害を進行させる半月体形成性腎炎をきたしうる様々な糸球体腎炎と血清 Sulfatides にどのような関係があるか明らかにし、血清 Sulfatides がこれら腎炎の疾患活動性の指標となるか明らかにします。
対象となる方	2008年1月1日～2021年10月31日までの間に生体腎移植ドナー候補として当院に通院歴のある方。 2008年1月1日～2021年10月31日までの間に新規に ANCA 関連血管炎を発症し当院腎臓内科で入院治療を受けた方。 2008年1月1日～2021年10月31日までの間に病理組織学的に IgA 腎症と当院にて診断された方 2008年1月1日～2021年10月31日までの間に IgA 血管炎と当院にて診断、治療された方 2008年1月1日～2021年10月31日までの間に新規に抗 GBM 抗体型腎炎と診断され治療を受けた方
利用する診療記録/ 検体	性別、年齢、身長、体重、疾患名、合併症、既往歴、現病歴、使用薬剤、血液検査、尿検査、Birmingham vasculitis activity score-ver-3 の値、感染合併症、治療内容、腎病理所見、腎予後、生命予後、血清 Sulfatides 値
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、血清 Sulfatides と腎炎の活動性との関係性について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。

問い合わせ先	氏名(所属・職名):原田 真(信州大学医学部附属病院腎臓内科医員) 電話:0263-37-2634
--------	--

【既存の検体や診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。